

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が3,540例あり、本年の累積報告数は74,250例になりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が4例(60歳代男性1例, 70歳代男性2例, 80歳代男性1例)ありました。いずれも感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は8例になりました。
- 梅毒の報告が1例(40歳代男性)(第12週追加報告分)あり, 感染経路は性的接触, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は23例になりました。
- 小児科定点把握感染症は, 前週までと大きな変化はなく, 発生数は低く推移しています。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市では第13週(3月28日～4月3日)に, 新型コロナウイルス感染症の新たな感染者が3,540例報告されました。人口10万人当りの報告数では, 本市においては第5週の813人がピークであり, それ以後は減少していましたが, 今週は第12週の189人から244人へと増加に転じています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 51例(肺結核 24例, その他結核 14例, 潜在性結核感染者 13例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- 新型コロナウイルス感染症 3,540例【1月以降の累積報告数74,250例】
- 四類:レジオネラ症 4例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 23例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

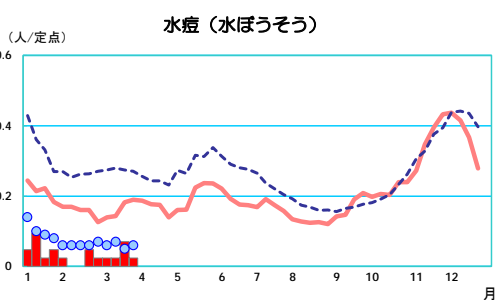
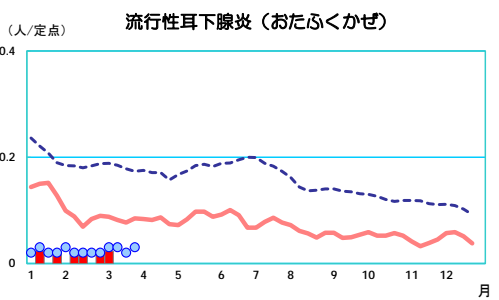
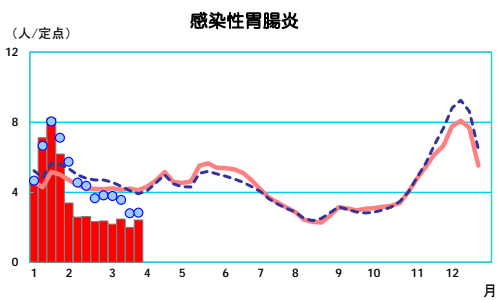
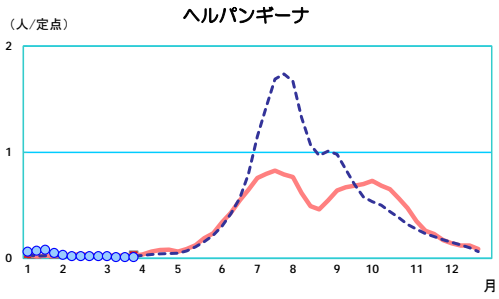
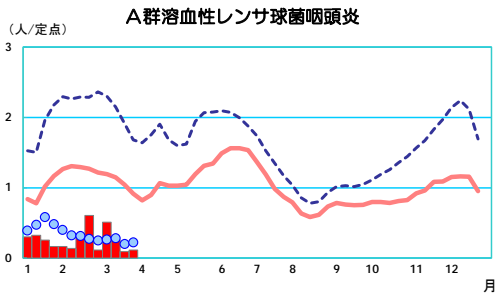
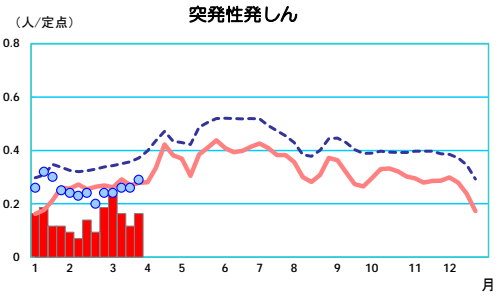
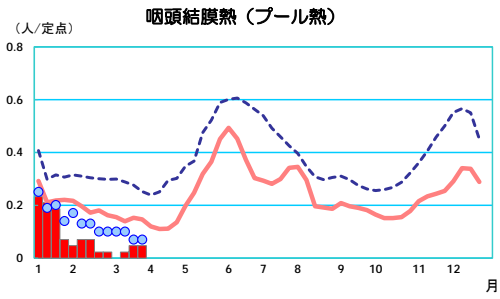
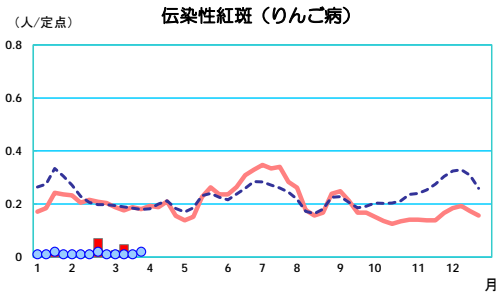
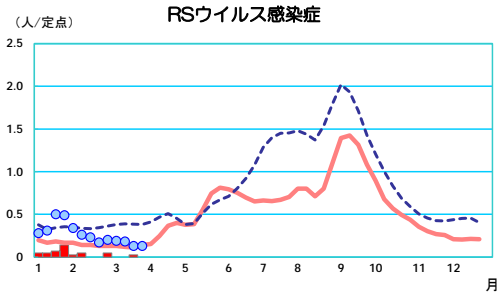
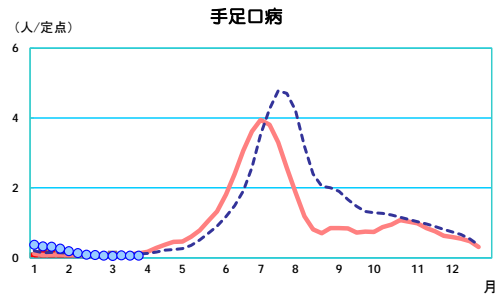
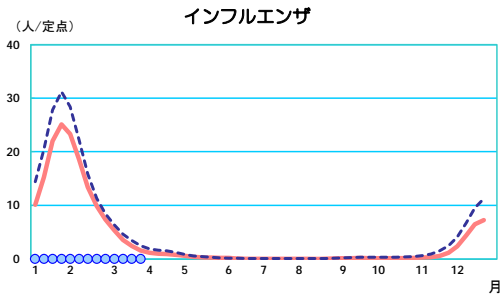
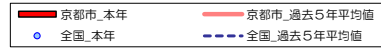
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.42	104
	② 突発性発しん	0.16	7
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.12	5
	④ ヘルパンギーナ	0.07	3
	⑤ 咽頭結膜熱	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

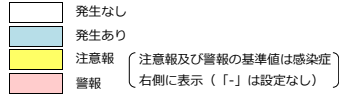
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2022年4月7日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

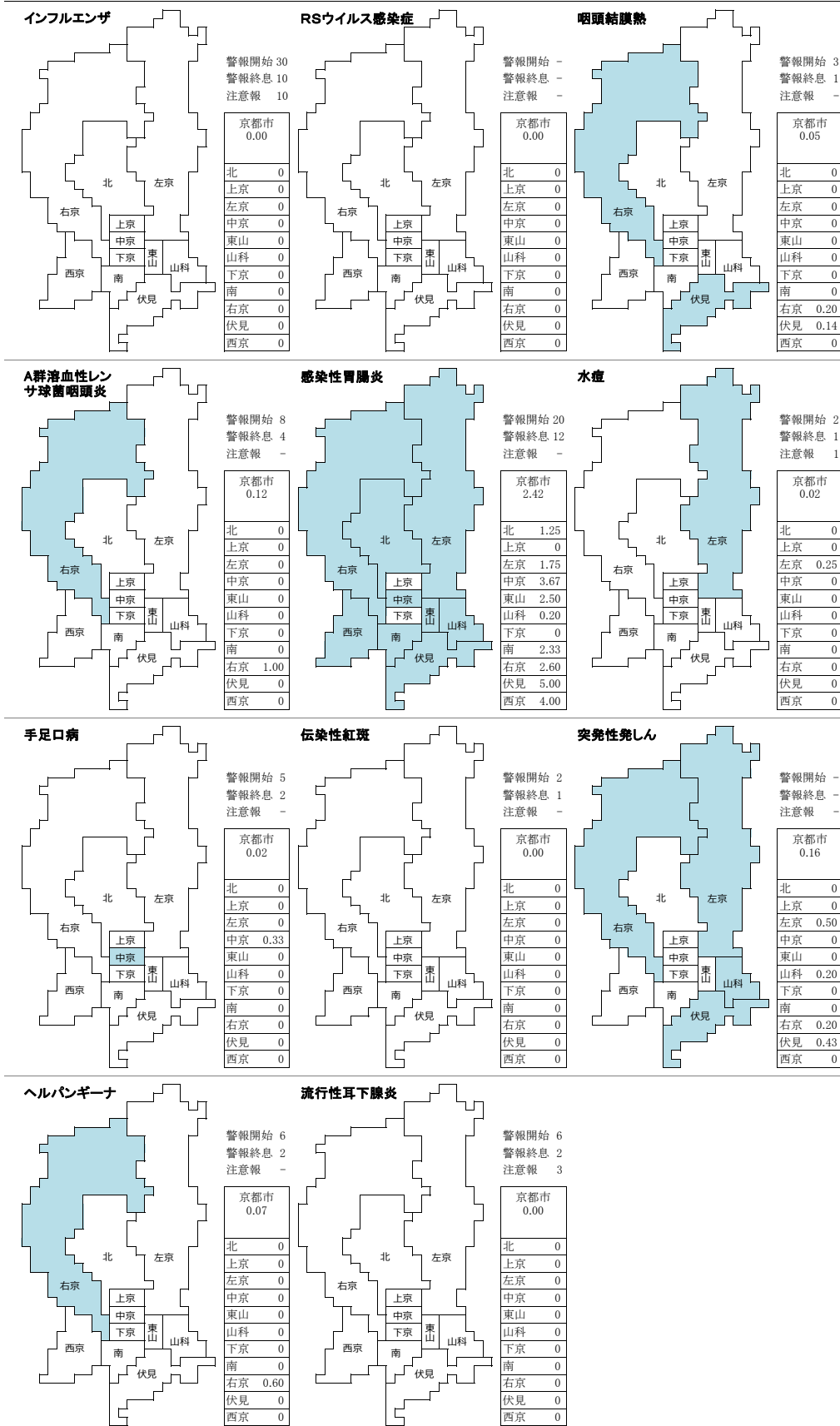
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年 第13週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第13週(3月28日～4月3日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市では第13週(3月28日～4月3日)に、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の新たな感染者が3,540例報告されました。人口10万人当りの報告数では、本市においては第5週の813人がピークであり、それ以後は減少していましたが、今週は第12週の189人から244人へと増加に転じています(図1)。全国の報告数は本市よりやや少ないものの同様に推移しており、第5週(484人)を境に減少していましたが、先週(213人)から今週(258人)にかけて増加しています。

これまで本市では、流行のピークを過ぎると報告数は速やかに減少し、人口10万人当たり10人以下となる傾向がありました(図1)。しかし、2022年に入ってから発生した流行(第6波)では、報告数の減少は緩やかであり、再び増加に転じる恐れがあります。第6波について、これまでに大規模な流行や死亡者数の増加がみられた8自治体を併せて比較すると、沖縄県を除いておおむね第5週前後をピークとする同様の推移が見られ、またこの8自治体全てで第13週から増加が始まっています(図2)。

本市におけるCOVID-19患者の年齢構成の推移を見ると、2021年ではまず30歳代以下(若齢層)の割合が高くなり、その後60歳代以上(高齢層)の割合が増加する傾向がみられます(図3)。2022年第8週以降は継続して若齢層の割合が増加しており、流行が再興(リバウンド)する可能性が高いと思われます。

本市のCOVID-19の報告数と死亡者数の推移を見ると、2021年には第9週や21週など、流行の後に死亡者が増加する傾向がありましたが、第6波でも2週遅れで死亡者のピークがおおむね一致しています(図4)。2021年に始まったワクチン接種と流行株の変遷により、致命率は減少していますが、報告数が格段に増加したため、結果として死亡者数は大きく増加しています。今後、流行がリバウンドし感染者が急増してしまった場合には、死亡者も大きく増加する恐れがあります。

COVID-19の感染予防には、手洗い、消毒、マスクを適切に着用することが重要です。引き続き、三密を避けるとともに、ひとりひとりが予防を心がけましょう。

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

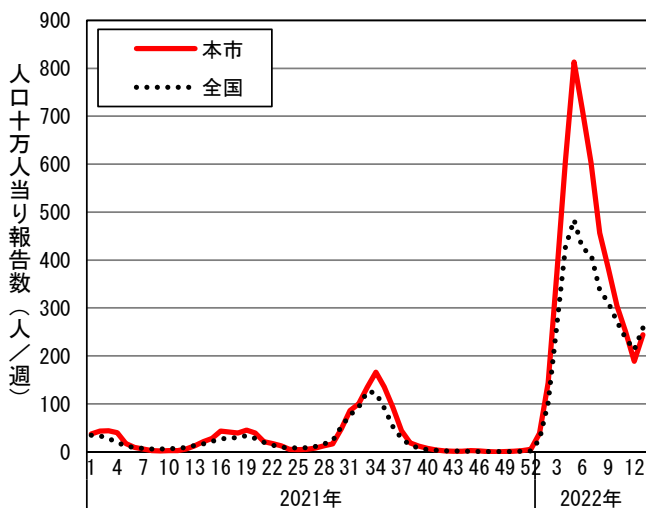


図1. 本市と全国のCOVID-19報告数*

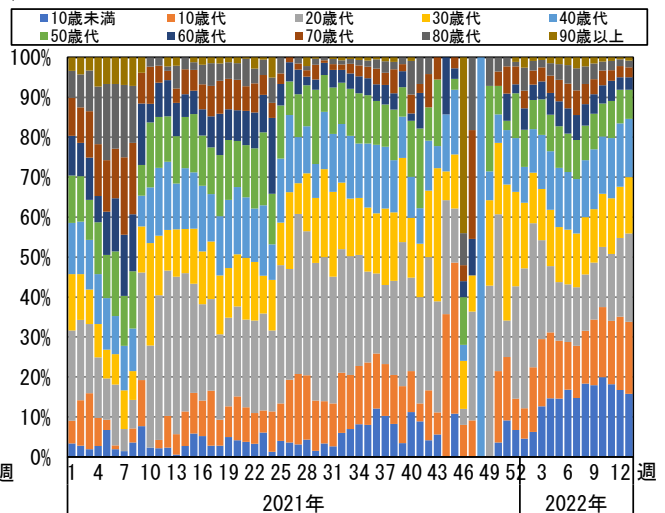


図3. 本市のCOVID-19の年齢階級別割合#

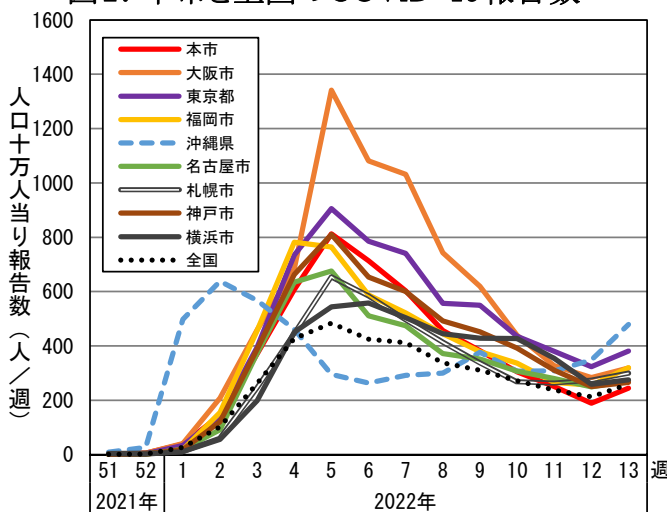


図2. 各自治体のCOVID-19報告数*

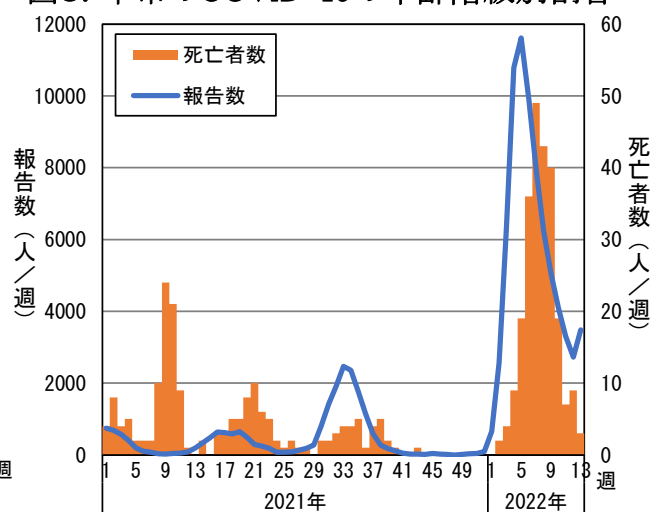


図4. 本市のCOVID-19報告数・死亡者数#

(*) 以下の各自治体または厚生労働省の広報情報を基に作図(2022年4月6日時点)。
<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000502869.html>
<https://catalog.data.metro.tokyo.lg.jp/dataset/t000010400000000068>
https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/coronataisaku/health/jirei/cohs_.html
https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/kansen/soumu/press/20200214_covid19_pr1.html

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>
<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/ikansen/2019n-covhassei.html>
<https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/covid19.html>
<https://data.city.yokohama.lg.jp/covid19/>
<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

(#) 新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム(HER-SYS)の情報を基に作図(2022年4月4日時点)。このため図4は、本市広報資料を基に作図した図1、2と報告数が異なる。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第13週

疾病,行政区別報告数

2022年3月28日～2022年4月3日

データ入手日:2022年4月7日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	7	1	-	-	2	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	1	5	13	-	-	-	1	3	-	-	1						
伏見	-	-	1	-	35	-	-	-	3	-	-	-	3						
西京	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	-	-	2	5	104	1	1	-	7	3	-	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	1.75	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	3.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	-	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	-	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	0.20	1.00	2.60	-	-	-	0.20	0.60	-	-	1.00						
伏見	-	-	0.14	-	5.00	-	-	-	0.43	-	-	-	1.50						
西京	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	-	-	0.05	0.12	2.42	0.02	0.02	-	0.16	0.07	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第13週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年3月28日～2022年4月3日

データ入手日:2022年4月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	-	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		104	1	1	7	11	15	14	2	13	6	3	5	10	2	14							
水痘		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	1	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.12	-	-	0.02	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.42	0.02	0.02	0.16	0.26	0.35	0.33	0.05	0.30	0.14	0.07	0.12	0.23	0.05	0.33						
水痘		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.16	0.02	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02					
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	0.10	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第13週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年4月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	2	-	-	1	-
咽頭結膜熱	1	1	-	1	2	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	5	22	11	4	5
感染性胃腸炎	100	102	94	106	86	104
水痘	2	1	1	1	3	1
手足口病	3	1	8	1	-	1
伝染性紅斑	3	-	1	2	-	-
突発性発しん	4	8	10	7	5	7
ヘルパンギーナ	-	-	1	-	1	3
流行性耳下腺炎	-	1	1	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	1	-	1	4
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	141	121	139	129	103	127

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	0.05	-	-	0.02	-
咽頭結膜熱	0.02	0.02	-	0.02	0.05	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	0.12	0.51	0.26	0.09	0.12
感染性胃腸炎	2.33	2.37	2.19	2.47	2.00	2.42
水痘	0.05	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02
手足口病	0.07	0.02	0.19	0.02	-	0.02
伝染性紅斑	0.07	-	0.02	0.05	-	-
突発性発しん	0.09	0.19	0.23	0.16	0.12	0.16
ヘルパンギーナ	-	-	0.02	-	0.02	0.07
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.02	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	0.10	-	0.10	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3.35	2.81	3.31	3.00	2.47	3.26

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。